

"しんじ"を信じる 京都府議会議員 二之湯真士事務所 編集・発行

ニノ湯真士通信

第3号

〒616-8167 京都市右京区太秦多藪町44-1
TEL: 075-862-1355 FAX: 075-862-1350
e-mail: ninoyushinji@palette.plala.or.jp

～今こそ、伝統が未来を拓く!～

行政の大転換期を、 幸せづくりの好機にしたい



朝夕はめっきり涼しい季節となりましたが、皆様にはお元気で過ごしていること存じます。平素より、私の政治活動に多大なるご支援を賜り、誠に有り難うございます。

「地方の時代」と言われて久しいですが、今なお身近な行政にも国が強く関与しています。しかし、平成19年に地方分権改革推進法が施行され、今年度からは「地方公共団体が自らの判断と責任で個性豊かな地域社会を創る」という方針が急激に具体化してきた感があります。

平成の大合併で、平成10年度末で3232あった市町村が平成17年度末で1821に統合されたことで、市町村には規模が大きくなり力がつきたと実感しているところが多いようです。そうした状況を受けて、5月30日に内閣府に設置された地方分権改革推進委員会(座長/丹羽宇一郎伊藤忠商事会長)が、福田総理大臣に「都道府県が持つ64法律の359の事務権限を市町村に移譲する」よう勧告をしました。委員会の勧告は二次・三次と続く予定ですが、その中で、「国の出先機関の廃止」や「道・州に国の権限を移譲する」と等が、より具体的に提言される予定です。つまり、二重行政の無駄を無くし、生活に密着したこ

とは身近な行政が決める、という方向なのです。こうした動きを受けて、京都府など近畿各府県は、最終的には国からの権限移譲を狙う目的で、防災や観光振興など都道府県行政の一部を、来年度からは府県の連合体である「関西広域連合」で行う方向で動き出しました。

こうした行政改革は、財政再建によって将来世代の負担を軽減したり、住民自治を重視したりする意味では、歓迎すべきだと思います。特に自治の点は重要だと思います。何故なら、京都における祇園祭再興や明治初期の小学校建設の例にもあるように、我が国には津々浦々で住民が地域を自ら治め守り互いに助け合う伝統があり、それが故郷への愛着や人々の絆を強め、各人が生き甲斐を感じていた、つまり幸せだったのだと思うからです。

では、今のような改革の先に、そうした幸せな地域社会があるのかと言え、気をつけなければならぬ点は多々あります。日本では税源が都市部に偏っているため、権限とともに財源を地方に移譲すると、地域間格差がさらに拡大し、過疎・過密は一層深刻になること。地域や国の経営には、細かく見る「虫の目」と全体を見通す「鳥の目」が必要ですが、地方分権が過ぎると「鳥の目」を失いかねないこと。国土全体を見通したうえで、どういった国づくりをするのかという基本哲学が殆ど議論されていないこと。人々の絆が薄れた都市部で住民自治が可能なのかということ等です。

現在の行政改革の流れにある光と影を見極め、光を大きく影を小さくする努力をするためには、行政の知識を得ることと同時に、我が国の歩みを深く学び直し、我々に相応しい社会の在り方を考えることが大切です。伝統的な暮らしに「今こそ、現代人が忘れつつある幸せのヒントが詰まっているのです。まさに「今こそ、伝統が未来を拓く!」です。

今後とも、そのような志を持ちつつ、一生懸命働きます。引き続きこの指導を宜しくお願い申し上げます。

ホームページもご覧ください!
URL: www.ninoyu.net

◆ブログなども活用し、この紙面ではご紹介しきれない日々の活動、私の素顔などもお伝えできればと思います。是非ご覧ください。

◆携帯電話用のメールマガジンの配信も行っております。ご登録は、HPもしくは右のQRコードからお願いします。



ビデオの貸出を致します!

◎TV文教常任委員会「京都府の大学改革」(KBS京都、1月20日放映)
◎2月定例会、本会議一般質問「京都府の山づくりについて」(2月22日)のビデオをお貸し致します。ご希望の方は、事務所までお問い合わせ下さい。なお、本会議一般質問の様子は、京都府議会のHPでもご覧いただけます。京都府議会ホームページ:
<http://www.pref.kyoto.jp/gikai/>



<色々な形で活動をお伝えします。皆様からもご意見や感想をお願い致します。>

府議会6月定例会

6月24日から7月15日まで、6月定例会が開催されました。

6月定例会では、原油価格高騰対策として「障害者送迎サービス助成事業費」1500万円、インターネット上のいじめへの緊急対策事業費に100万円、ふるさと納税で頂いた寄付金を文化財保護事業に充当する制度の準備に100万円、府民の安心・安全の拠点である警察署建設用地取得費(中京署)に6100万円など、7800万円の予算を補正し、可決しました。

また平成20年度、私は総務常任委員会、地球温暖化対策特別委員会(副委員長)に所属してあります。特別委員会では、副委員長として委員会運営に努める立場なのであまり発言しませんが、総務委員会では、会派を代表して発言する機会がたくさんあります。

総務委員会は、京都府の基本計画や税財政など府政の背骨に当たる分野や、教育・建設・農林水産業・商工業・福祉などに属さない様々な分野を審議する守備範囲の広い花形の委員会です。6月定例会での主な質問・発言の概要は以下の通りです。

◆北朝鮮による拉致被害者の救出に向けた京都府の取り組みについて

〔二之湯委員〕先般、京都でG8外相会合もありましたが、平和といったことを考える時、我が国にとって北朝鮮による拉致被害者全員を早期に帰国させることは外交上の大きな課題であります。先般、自民党青年局でも、それを訴えるために家族会の方々と街頭行動を行いました。しかし、米国が北朝鮮に対するテロ支援国家の指定を解除する方向に動くなど、状況は厳しいものがあります。京都府としてこの問題にどういう姿勢で取り組んでいくつもりですか?

◆寄付行為に伴う地方住民税の軽減措置に対する検討状況について

〔二之湯委員〕地方自治体ができることは、そうした普及・啓発ということになると思います。我々も頑張りますので、京都府も引き続いての取り組みをお願いいたします。

*なお、この質問をきっかけに「拉致問題の早期解決に関する意見書」(京都府から政府への意見)が、6月定例会最終日の本会議に提出され、可決されました。

〔二之湯委員〕地方自治体がそれぞれ条例で定めれば、国税庁が認定したNPO法人や学校法人に対して寄付行為をした者の地方住民税を控除しても良いというふうには、地方税法が改正されましたが、これに対する京都府の検討状況はどうですか?

〔松本税務課長〕特定公益増進法人と呼ばれる団体への寄付金控除の件ですが、これは府税収入の点から見れば減収になる状況も考えられるので、条例を作る際は、どういった団体に対する寄付を控除の対象にすべきか、他の自治体の例も参考にしながら検討を続けて参ります。

「府政報告・懇親の夕べ」のご案内

皆様にお支え頂き府議会議員として1年半活動を続けることができました。この度、今までの活動のご報告と京都府・地方行政の将来をお話させて頂き、皆様との親睦を深めながら、故郷の将来を共に語り合いたく存じます。是非ともご参加くださいますようお願い申し上げます。

府政報告・懇親の夕べ

◇日時:平成20年10月9日(木)
受付 18:00 開会 18:30
◇場所:アークホテル「雅・華の間」
(四条大宮西入南側)
◇会費:5,000円(申込み時にお支払い下さい)
(着席ディナー、飲み放題込)
◇お申込み期間
本日より10月2日(木)まで
お問い合わせは、二之湯真士事務所まで
TEL 075-862-1355

後援会旅行会のご案内

◆日時:平成21年2月22日(日)～23日(月)
◆参加費:31,000円
◆コース概要(予定)
1日目:京都→出石観光→湯村温泉(佳泉郷・井つづや)
2日目:湯村温泉→天橋立→伊根湾巡り→京都
◆お問い合わせは、二之湯真士事務所まで

後援会第1回ボウリング大会御礼

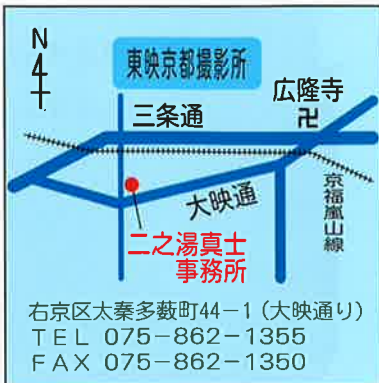
6月29日の二之湯真士後援会ボウリング大会は、61名の皆様にご参加頂き、お陰様で盛況に開催することができました。有り難うございました。

事務所へお気軽におこしください



皆様にとって、行政の役割分担は分かりにくいものです。どこに相談に行けばいいかわからない時は、私の事務所をご利用下さい。

事務所の職員の高畑桂子さんは、皆様には色々なお話しになります。どうぞお気軽に致します。



6月の主な活動

- 1日：京都市消防団総合査閲、京都日韓親善協会設立総会、日本ボーイスカウト京都連盟表彰式
- 4日：京都府防衛協会定期総会
- 8日：「歯のひろば」(京都府歯科医師会)
- 9日：私立幼稚園PTA連合会総会、農場視察(滋賀県湖北町)
- 15日：京都私学振興会賞授賞式
- 17日：京都商工会議所青年部主催パネルディスカッション
- 19日：京都府開庁記念日 記念式典
- 22日：日本空手道大志館 北地区大会開会式
- 23日：(株)けいはんな視察、旅館生活衛生同業組合 記念式典
- 27日：西院校園連盟歓迎会
- 29日：後援会ボウリング大会、自民党青年局全国一斉街頭行動



<「(株)けいはんな」を視察>

大阪地裁に民事再生手続きを申請していた「(株)けいはんな」を訪問しました。城陽市以南では唯一のホテル併設のホールを運営しており、京都府南部の学研都市が日本の学術・文化の一大拠点になるためには不可欠な施設だと思います。再生計画に基づく再興に期待します。

<いい歯の広場に参加>

きれいな歯が健康の基本です。歯科医師会が毎年実施されている「歯のひろば」で、歯が人の健康に与える影響の大きさを改めて勉強しました。当日は、小さなお子様連れで大賑わいでした。



<西院校園連盟歓迎会>

昨年度は文教委員を経験し、教育は幼保・小・中・高校のどの段階も大切な役割を担っており、その連携・協力が必要だと痛感しました。西院の中学校区のように、幼稚園・保育園・小学校・中学校が協力し、保護者主催で先生方の歓迎会をしていることは素晴らしいことだと思います。



活動報告



<自民党京都府連 街頭宣伝活動>

高齢者医療費の激増で市町村の健康保険が崩壊しかけたので、民主党も同意のうえで新たな老人医療制度が設計されました。そして今春導入されたのが、長寿(後期高齢者)医療制度です。民主党のように政略のための批判をしたり、財源の裏づけもなく「農家の所得保障、高速道路の無料化」などの無責任なことを言ったりしないのが政権与党です。伊吹幹事長らもマイクを握り、我が党の考えを訴え、ご理解をお願いしました。



<総務常任委員会 管内調査>

地域住民の自主的な取組として、嵐電「御室駅」で雨水を集めて小学生や地域の方々が駅内で植物を育てている様子を勉強しました。その他、全国的な公営ギャンブルの不振の中で、今まさに運営の岐路にある向日町競輪を視察しました。



<京都迎賓館参観>

京都の文化の粋を集めて築かれた京都迎賓館を参観。写真の背景には藤の花が織り込まれています。

- 4日：京都府土地改良議員連盟総会
- 5日：自民党京都府連広報委員会 街頭宣伝活動
- 6日：右京少年野球振興会「愛宕大会」決勝戦・閉会式
- 7日：日本タイ親善議員連盟総会
- 11日：京都府環境整備事業協同組合との勉強会
- 12日：長寿医療制度の勉強会、京都府薬剤師連盟との意見交換会
- 15日：京丹后市建設業協会との意見交換会
- 26日：自民党京都府連 青年政治大学校
- 27日：京都府消防操法大会
- 28日：総務常任委員会 管内調査
- 31日：京都迎賓館特別参観

7月の主な活動

<京丹后市建設業協会との意見交換会>

自治体間の格差が問題となっています。京都府も北部が経済的に極めて厳しい状況です。京丹后市は、丹後縮小や農林業の不振で厳しい経済状況が続く、職場を求めて若者が都会に流出し続けています。それに加えて、公共事業の減少・入札制度改革の中で建設業界も大変厳しいという事情をお伺いしました。



8月の主な活動

- 2日：若手議員同士でのシンポジウム開催
- 3日：京都「三重県人会」
- 4日：自民党京都府連青年局勉強会「歴史教科書の現状と課題」
- 8日：京都府議会議員団と参議院議員との勉強会
- 12日～14日：他府県若手議員との勉強会・懇親会
- 18日：自民党右京支部役員会
- 20日：農林水産行政に関する勉強会
- 26日～28日：地球温暖化対策特別委員会 管外調査
- 29日：京都公共嘱託登記士地家屋調査士会協会 総会

<自民党京都府連青年局勉強会>

故郷や祖国を誇らしく思う気持ちが地域や国の活力の源ですが、日本の若者の多くはそうは思えていません。その原因とされる「事実を歪めてまで自虐的に描かれた歴史教科書」の現状を再確認しました。



<地球温暖化対策特別委員会 管外調査>

〔バイオマス資源化センター〕環境都市日本一を目指す大分県日田市のバイオマス資源化センターでは、生ゴミや家畜の糞尿などを発酵させることでメタンガス発電を行い、その処理の過程で得られる肥料を販売しています。また、同市では建築廃材などを燃やして行う発電をビジネスも成立しています。

〔熊本県環境センター〕熊本県は、水俣病の教訓を生かし、小学生の段階から地球環境問題を含めた環境教育を熱心に行っています。



また、県独自の施策によって住宅用太陽光発電の普及率が日本一となっている佐賀県を訪問し、その制度を調査しました。



<若手議員同士でのシンポジウム>

大阪府和泉市において、20・30代の若手議員らで、聴衆との質疑応答も含めて将来の社会の在り方について大いに語り合いました。聴衆は40名ほどでしたが、年配の方から学生まで幅広く、色々な意見交換ができました。